

人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略

基本政策1 みんなで応援する結婚・出産・子育てと 人生100年時代の健康しがの実現

- 滋賀県人口の社会増減、自然増減
- 結婚・出産・子育てをめぐる現状

■ 総合戦略の構成

政策分野	基本政策	基本政策において目指す方向性	主な施策
ひと	1 みんなで応援する 結婚・出産・子育てと 人生100年時代の 健康しがの実現	1) 子どもを安心して生み育て、 子どもの健やかな育ちを支える 社会づくり	① 子どもを生み育てやすい環境づくり ② 子ども・若者を社会全体で応援 ③ 仕事と子育ての両立に向けた働き方改革の推進
		2) 子どもがたくましくしなやかに 生きる力を身に付けるための教育	① 子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育成
		3) 人生100年時代の健康しがの実現	① 健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進 ② 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり
しごと	2 次代に向かう 産業の活性化と 多様で魅力ある 働く場の創出	1) 成長市場・分野を意識した 産業創出・転換	① 先端技術等を活用した新たな市場展開や交流による イノベーションの創出 ② 滋賀の強みを活かした産業の創出
		2) 生産性の向上や高付加価値化 による力強い農林水産業の確立	① 農林水産物のブランド力向上 ② マーケットインの視点による農林水産業の展開
		3) 人材の確保・育成と経営の強化	① 人材の確保・定着と事業承継 ② 各分野の人材育成とダイバーシティ経営の推進
		4) 誰もが働き、活躍できる環境の整備	① 誰もが活躍できる多様な働き方の推進 ② 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり
まち	3 様々な人々が集い、 琵琶湖と共生する 魅力的な滋賀づくり と次世代への継承	1) 訪れる人・関わる人の創出	① 滋賀ならではの特色を活かした観光の創造 ② 多様な人が関わり合う地域の創造と移住の促進
		2) 暮らしを支える地域づくり	① 地域コミュニティを支える人材の育成等 ② 暮らしやすいコンパクトなまちづくり ③ 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり
		3) 森・川・里・湖の多面的価値を 未来へ引き継ぐ地域づくり	① 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承 ② 琵琶湖の保全再生と活用 ③ 生物多様性の確保、森林の多面的機能の発揮

■ 重視する視点

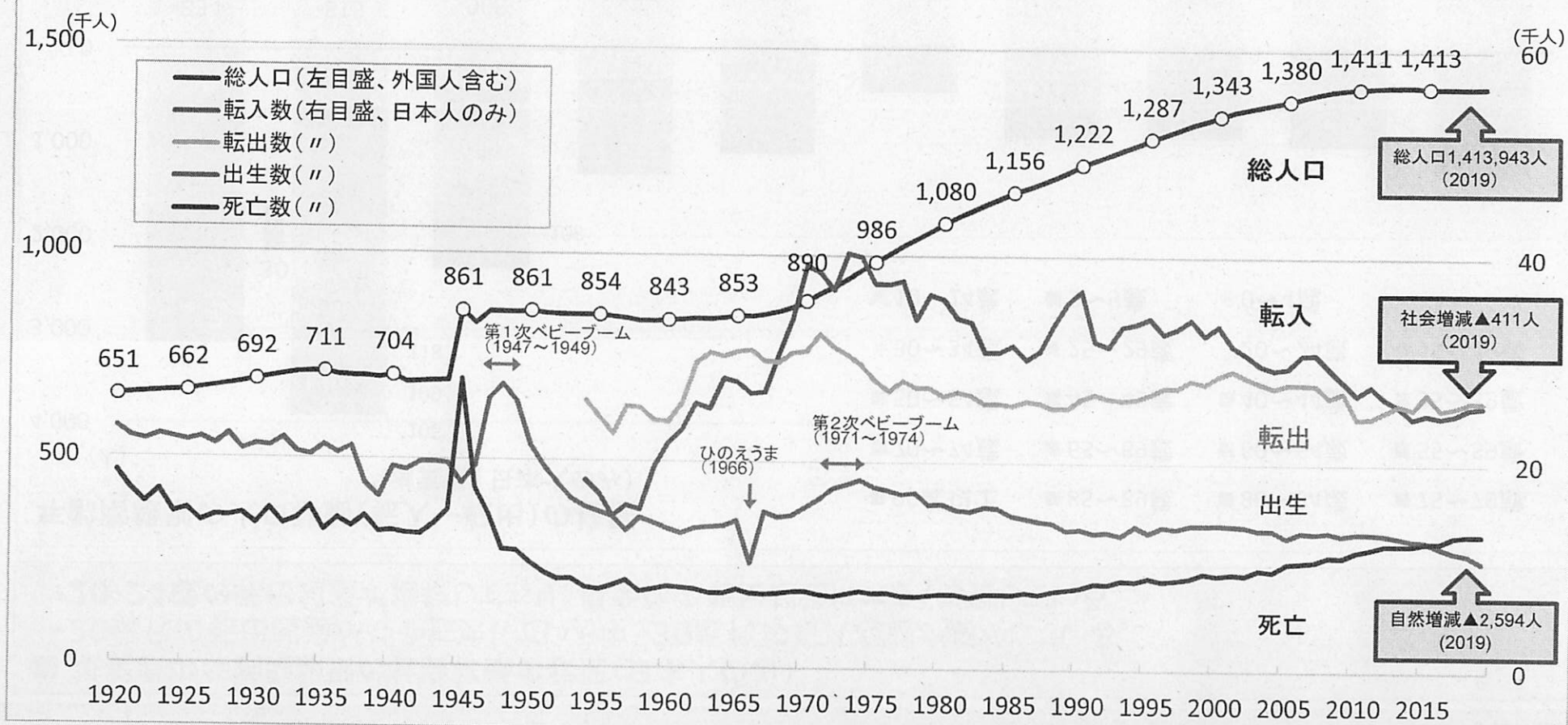
- ①若い世代への支援と転入の拡大
- ②Society 5.0を見据えた産業の振興
- ③誰もが活躍できる共生社会の推進
- ④「関係人口」の創出・拡大
- ⑤人口減少が進む地域への対応

滋賀県の人口動向

■ 滋賀県の人口動向（総人口、社会増減、自然増減）

- ・ 総人口は、2013年の約142万人をピークに減少傾向に。※2019年は増加（外国人含む）
- ・ 社会増（転入数>転出数）が続いていたが、2013年以降は社会減（転入数<転出数） ※日本人のみ
- ・ 少子高齢化に伴い、2016年以降は自然減（出生数<死亡数）に。

滋賀県の総人口および社会増減・自然増減の推移



資料：総務省「国勢調査」、「人口推計」、「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態統計」

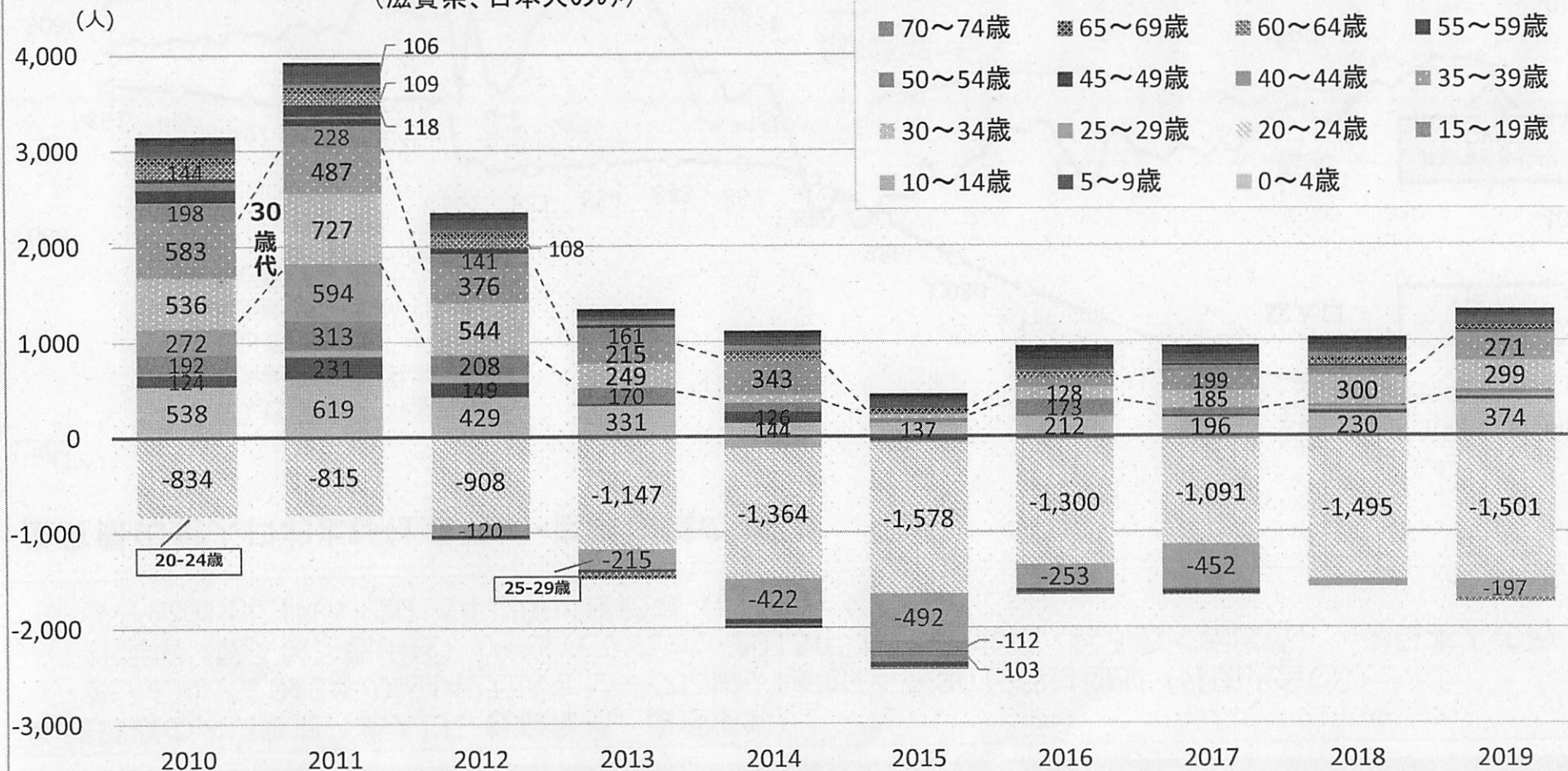
年齢別の社会増減の推移

■ 滋賀県の年齢階級別の社会移動の状況(日本人のみ)

- ・20歳代の転出超過がやや拡大している中、30歳代の転入超過が縮小している。
- ・20-24歳の転出超過が継続しており、県全体の転出超過に大きく影響している。

年齢階級別の人口移動(転入-転出)の推移

(滋賀県、日本人のみ)



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

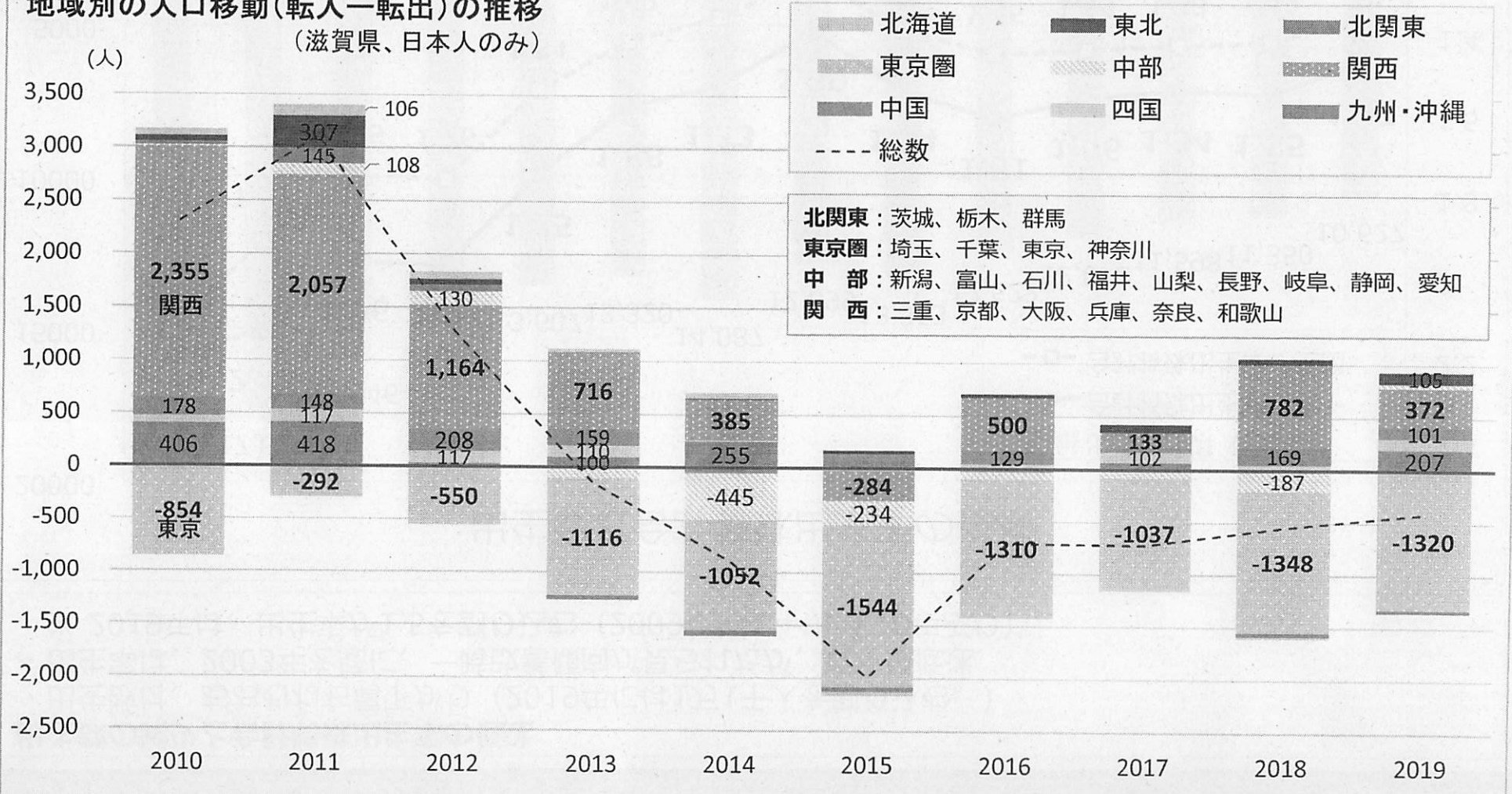
地域別の社会増減の推移（全国）

■ 滋賀県と各地域間の社会移動の状況（日本人のみ）

- ・関西からは、2千人を超える大幅な転入超過があったが、近年はその幅が縮小している。
- ・東京圏への転出超過は1千人を超えるレベルで継続している。

地域別の人口移動（転入－転出）の推移

（滋賀県、日本人のみ）



北関東：茨城、栃木、群馬
 東京圏：埼玉、千葉、東京、神奈川
 中部：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
 関西：三重、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

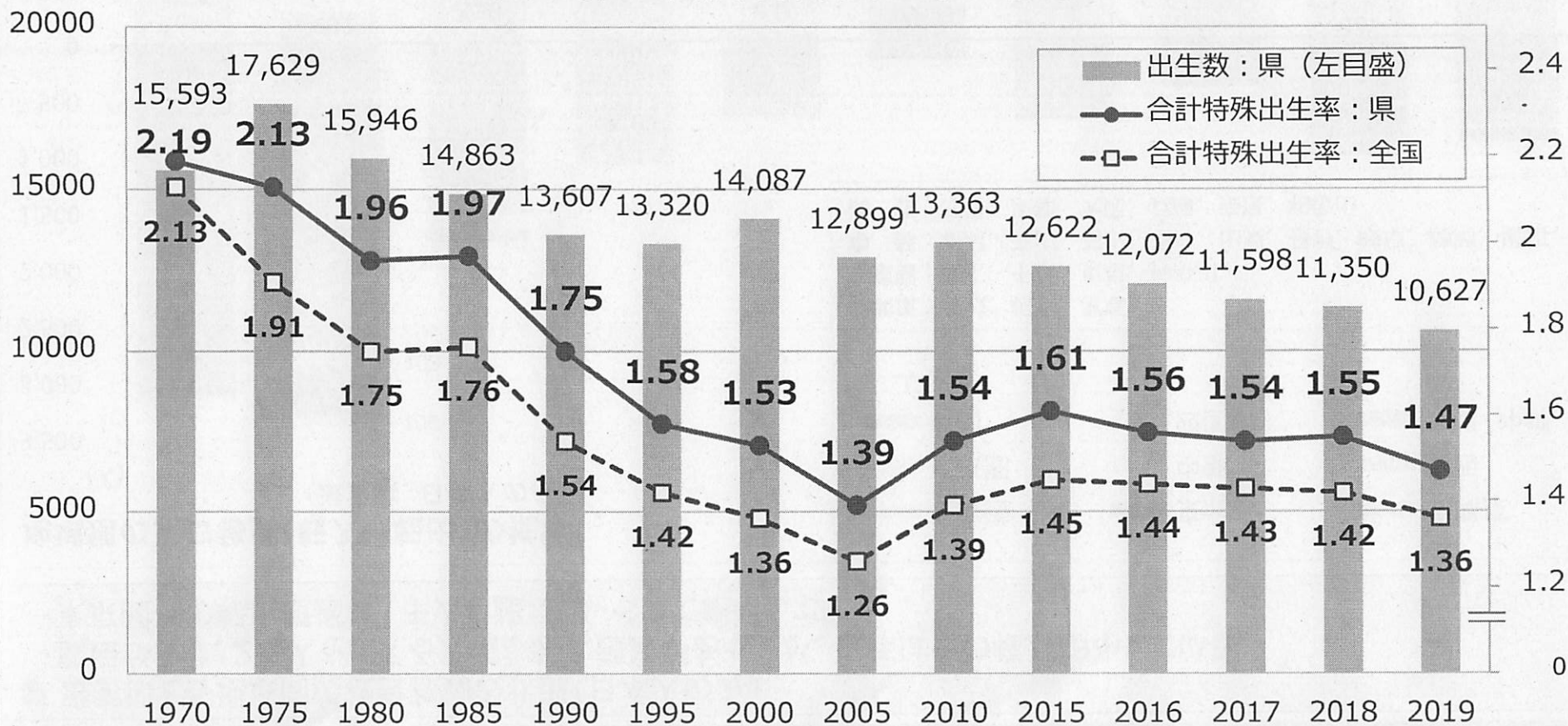
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

出生数と合計特殊出生率の推移

出生数の減少と合計特殊出生率の低迷

- ・出生数は、おおむね右肩下がり（2019年には1万1千人を割り込む。）
- ・出生率は、2003年を底に、一時改善傾向が見られたが、近年は低迷
※ 2019年は、出生率が1.5を割り込む（2009年の1.44以来10年ぶり）

出生数と合計特殊出生率の推移



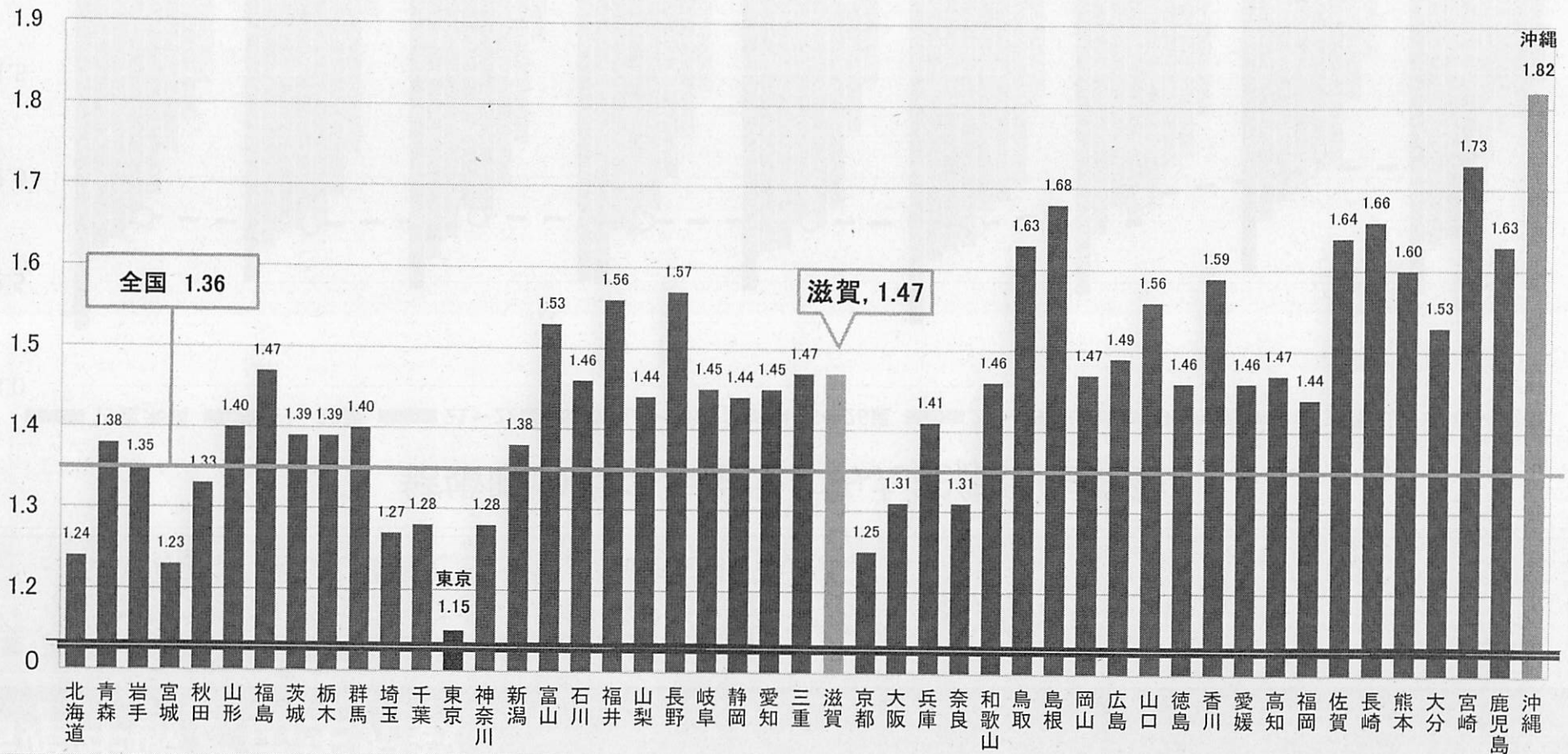
資料：厚生労働省「人口動態統計」

都道府県別の合計特殊出生率

■ 都道府県別の合計特殊出生率 (2019年)

- ・ 滋賀県は2019年に全国16位（最高値は沖縄県1.82、最低値は東京都1.15）
- ・ 大都市部では出生率が低くなる傾向がみられる。
- ・ 出生率の全国的な傾向として、西日本で比較的高く、東日本では低い、と言われている。

都道府県別の合計特殊出生率(2019年)



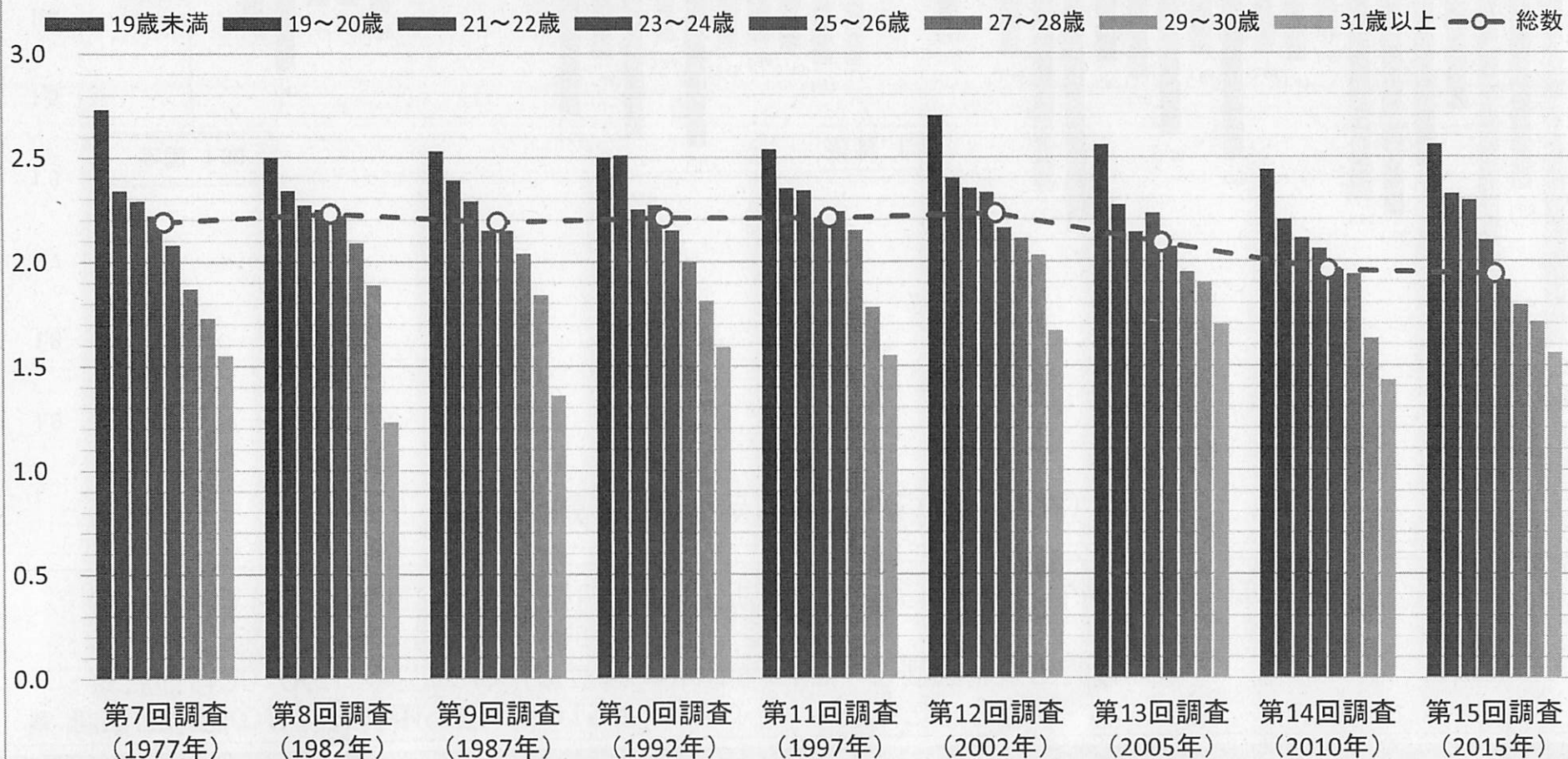
資料：厚生労働省「人口動態統計」

結婚年齢と出生児数

■ 結婚時の妻の年齢別に見た完結出生児数（全国）

- ・ 結婚時の妻の年齢が若いほど、夫婦が最終的に持つ子どもの数が多くなっている。
- ・ この傾向は、過去の調査でも一貫して確認されている。

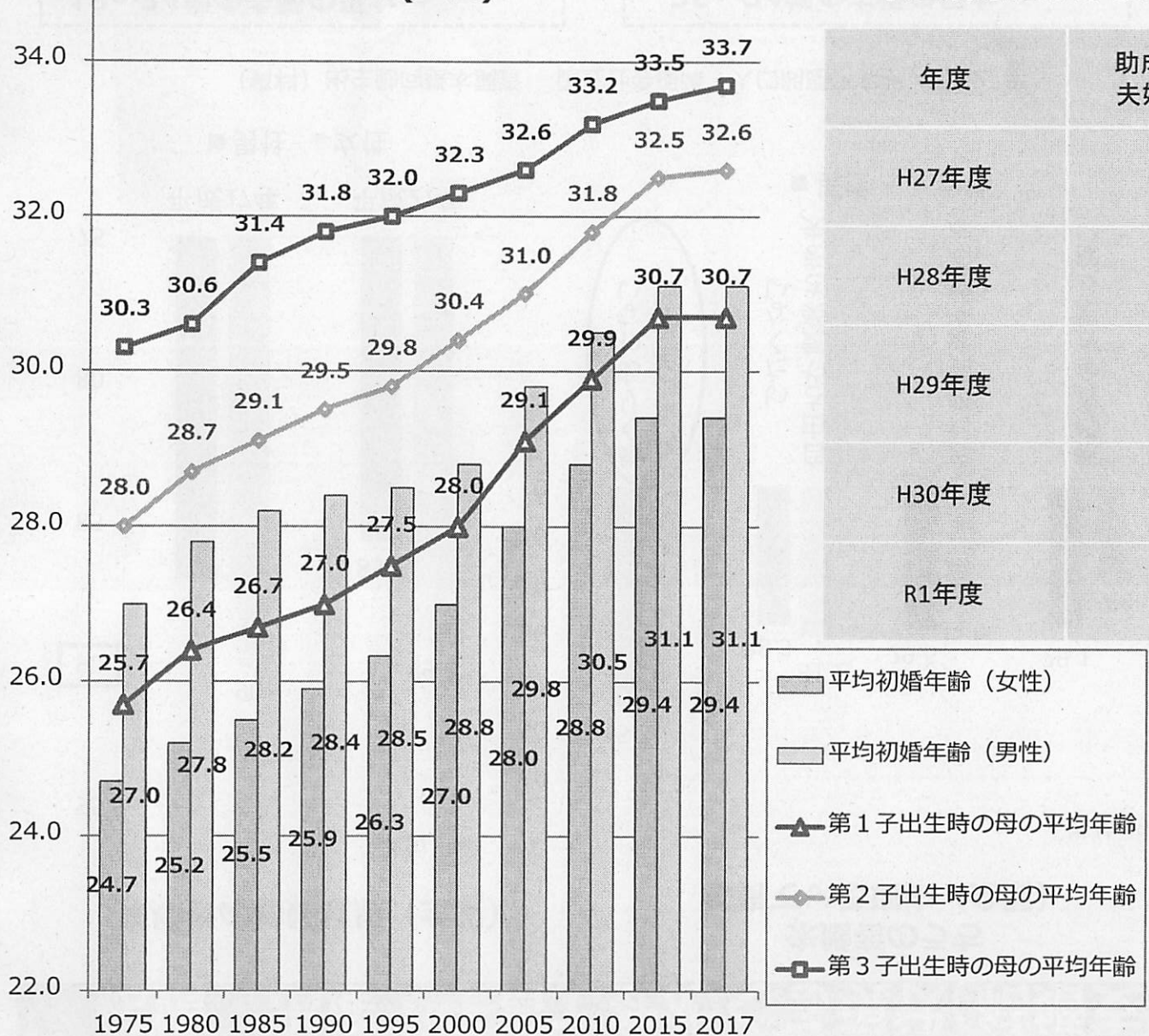
結婚時の妻の年齢別に見た完結出生児数



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

結婚・出産・子育てをめぐる現状(出産年齢・不妊治療)

初婚年齢と出産時の年齢(全国)



不妊治療にかかる助成件数(滋賀県)

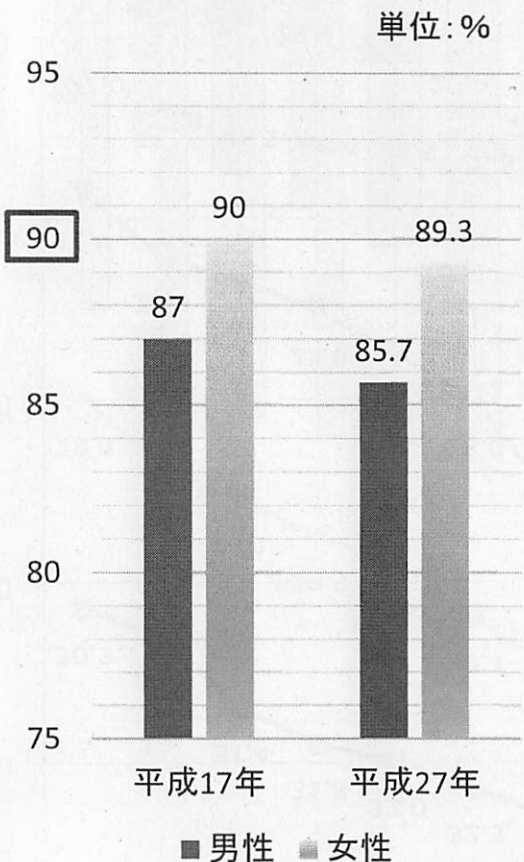
年度	助成を受けた夫婦の数(組)	助成をした件数(件)	支出総額(円)
H27年度	894	1,501	203,158,923
H28年度	886	1,402	245,973,704
H29年度	853	1,386	236,018,531
H30年度	900	1,467	250,688,274
R1年度	891	1,443	242,907,127

・初婚年齢の上昇とともに晩産化も進行。
 ・日本では、5.5組に1組の夫婦が実際に不妊の検査や治療を受けている。
(国立社会保障・人口問題研究所 「2015年社会保障・人口問題基本調査」による)

(資料)厚生労働省「人口動態統計」、内閣府「令和元年版 少子化社会対策白書」

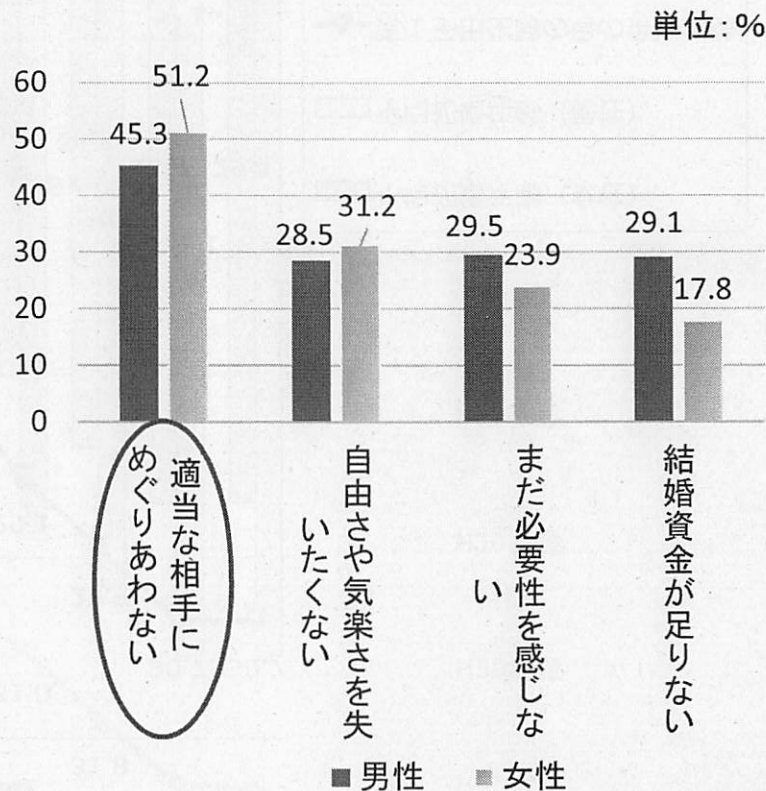
結婚・出産・子育てをめぐる現状(結婚支援に関する現状)

未婚者の結婚意思 (全国)



(資料) 出生動向基本調査 国立社会保障・人口問題研究所 平成27年

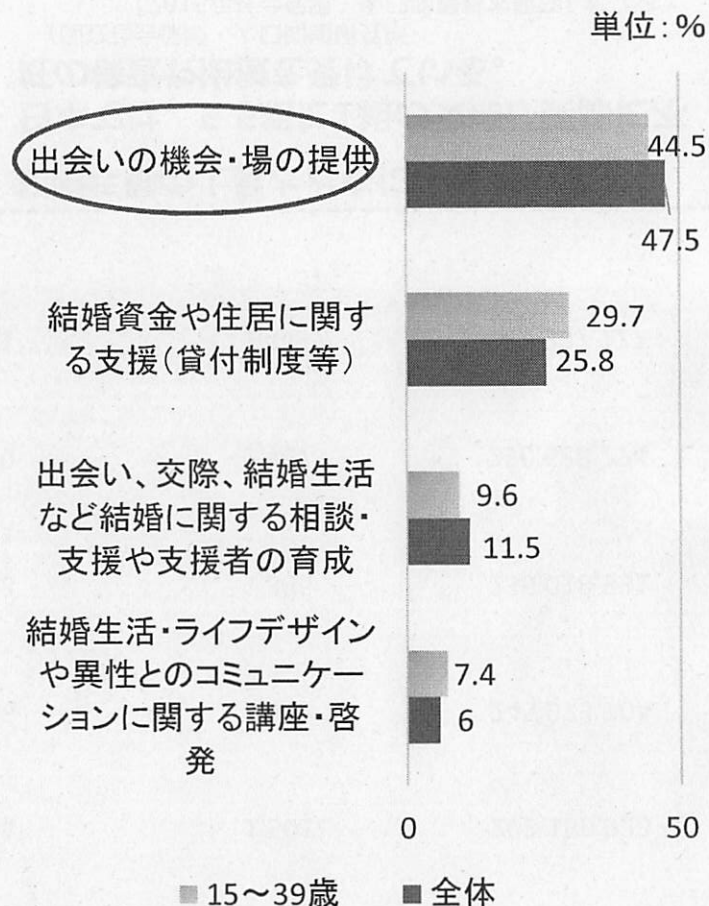
未婚者のうち 独身でいる理由 (全国)



18~34歳の未婚の男女⇒
男女とも約9割が
「いずれ結婚するつもり」と回答。

25~34歳の未婚の男女⇒
「適切な相手にめぐりあわない」
が最も多い。

公的な婚活支援に求める取組 (全国)

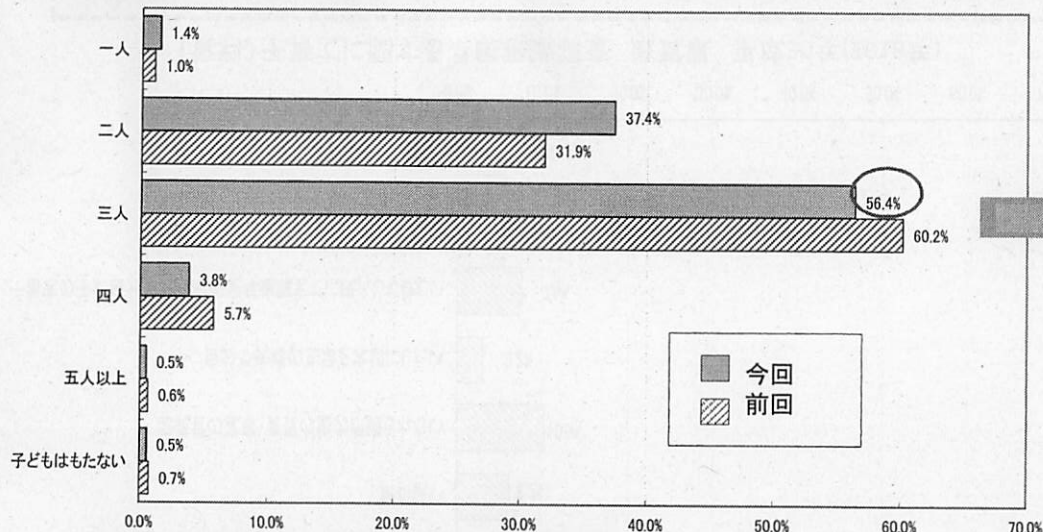


(資料) 人口減少社会に関する意識調査 厚生労働省 平成27年

「出会いの機会・場の提供」を求める
声が多い。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(理想の子ども数と現実1)

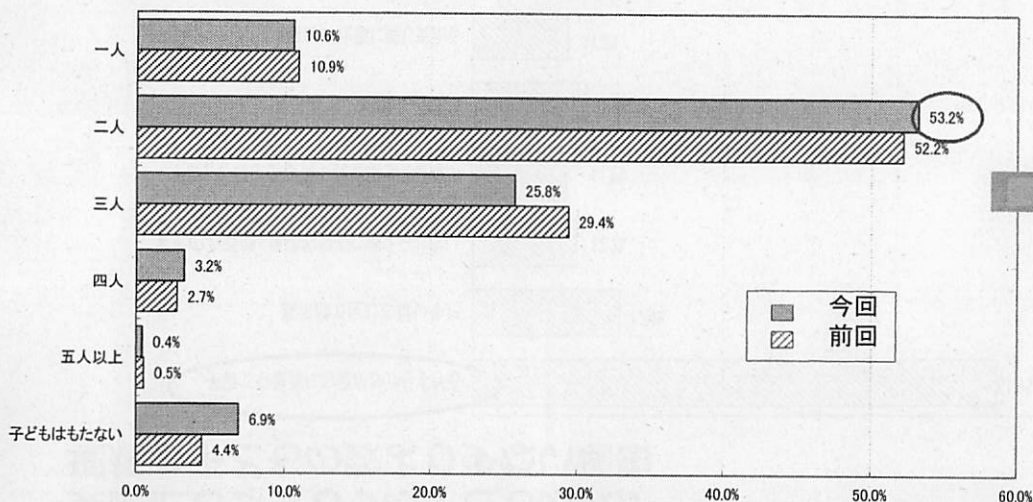
理想の子ども数



理想の子ども数 年代別クロス集計

	一人	二人	三人	四人	五人以上
18歳～20歳代	4.6%	61.9%	28.0%	2.8%	1.8%
30歳代	2.7%	38.1%	54.5%	3.8%	0.3%
40歳代	1.8%	45.4%	49.5%	2.5%	
50歳代	1.6%	38.8%	55.7%	3.3%	0.6%
60歳代	0.6%	27.3%	66.1%	5.5%	
70歳以上		32.6%	62.6%	3.6%	0.9%

実際に持つつもりの子どもの数



実際にもつつもりの子ども数 年代別クロス集計

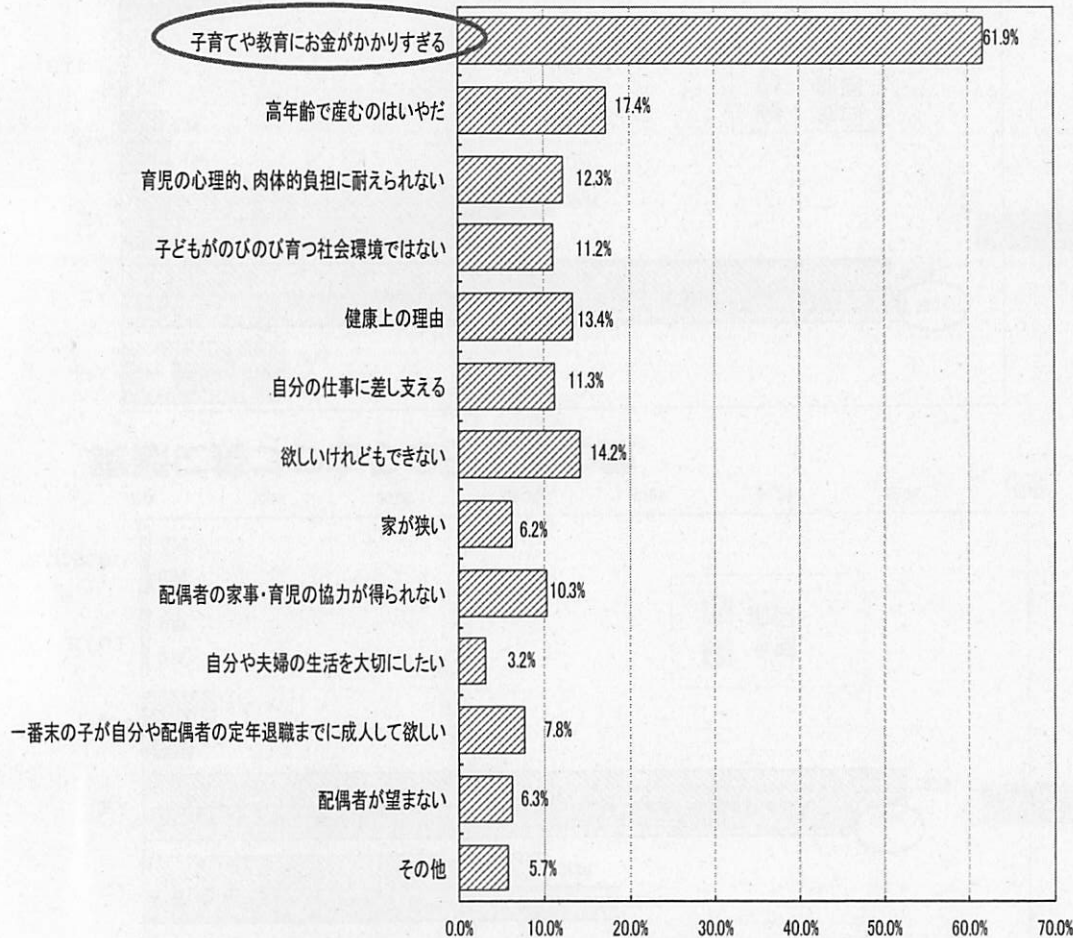
	一人	二人	三人	四人	五人以上
18歳～20歳代	8.7%	65.6%	15.1%	1.8%	0.9%
30歳代	13.2%	58.7%	20.4%	2.2%	
40歳代	16.6%	53.4%	16.1%	1.5%	
50歳代	13.5%	48.8%	22.7%	4.1%	0.8%
60歳代	6.9%	49.3%	34.3%	4.4%	
70歳以上	5.4%	53.9%	34.1%	3.8%	0.9%

(資料)子育てに関する県民意識調査 滋賀県 平成30年(2018年)

理想とする子どもの数は「三人」が56.4%と最も高いが、実際にもつつもりの子どもの数は「二人」が53.2%と最も高い。18歳～20歳代は61.9%が理想の子ども数を「二人」と回答。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(理想の子ども数と現実2)

実際にもつつもりの子どもの数が理想の子ども数より少ない理由



(資料)子育てに関する県民意識調査 滋賀県 平成30年(2018年)

理想の子ども数より実際にもつつもりの子どもの数が少ない理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が61.9%と最も多くを占める。

幼稚園から高校までの教育費

(単位:千円)

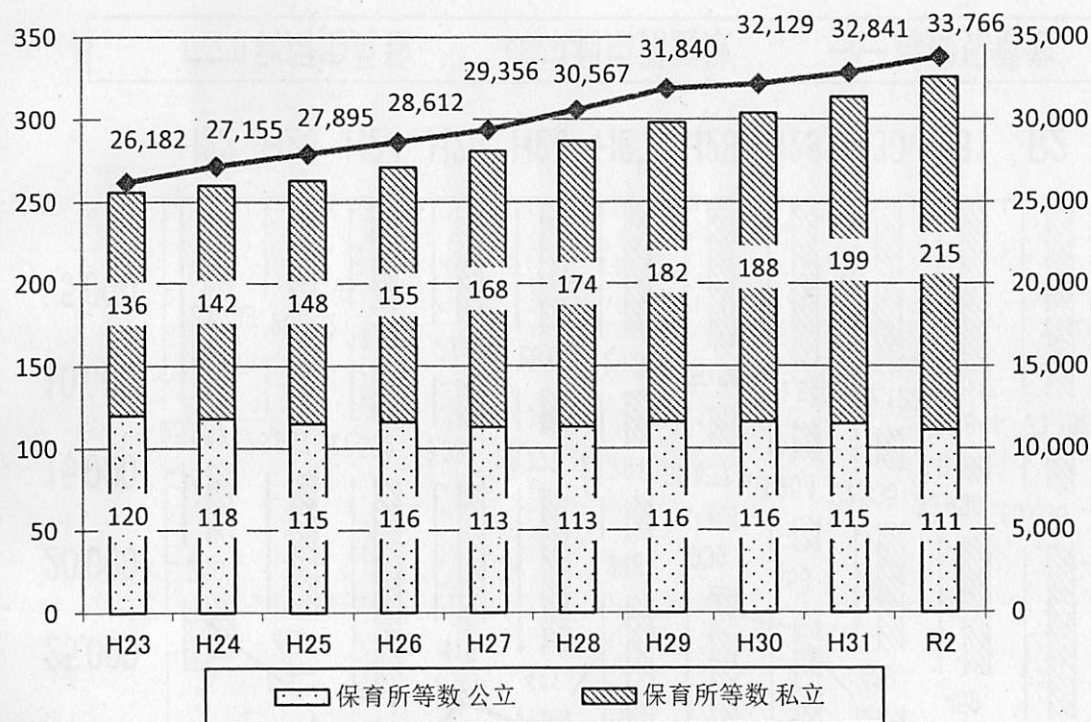
	全て公立	幼小中公立 高校私立	幼小公立 中高私立	全て私立
幼稚園	650	650	650	1,585
小学校	1,927	1,927	1,927	9,593
中学校	1,463	1,463	4,218	4,218
高等学校	1,373	2,905	2,905	2,905
合計	5,413	6,945	9,700	18,301

(資料)子供の学習費調査 文部科学省 平成30年度

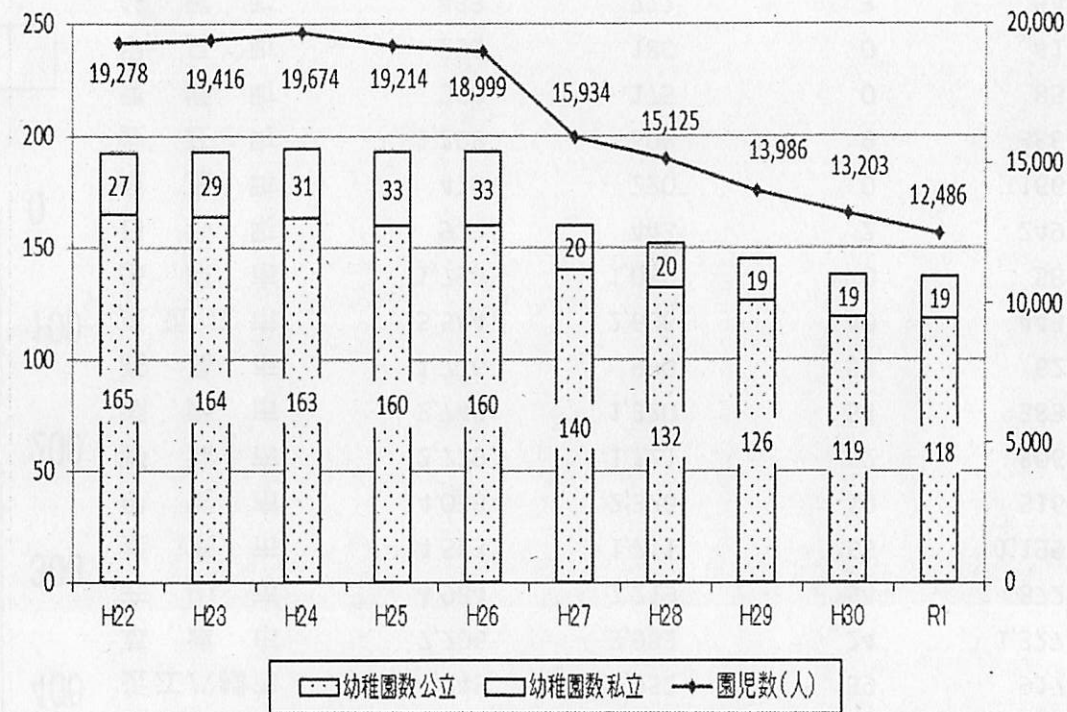
全て公立に通う場合でも高校卒業までに541万3千円の教育費が必要。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(保育所等の状況1)

保育所等の児童数の推移



幼稚園の児童数の推移



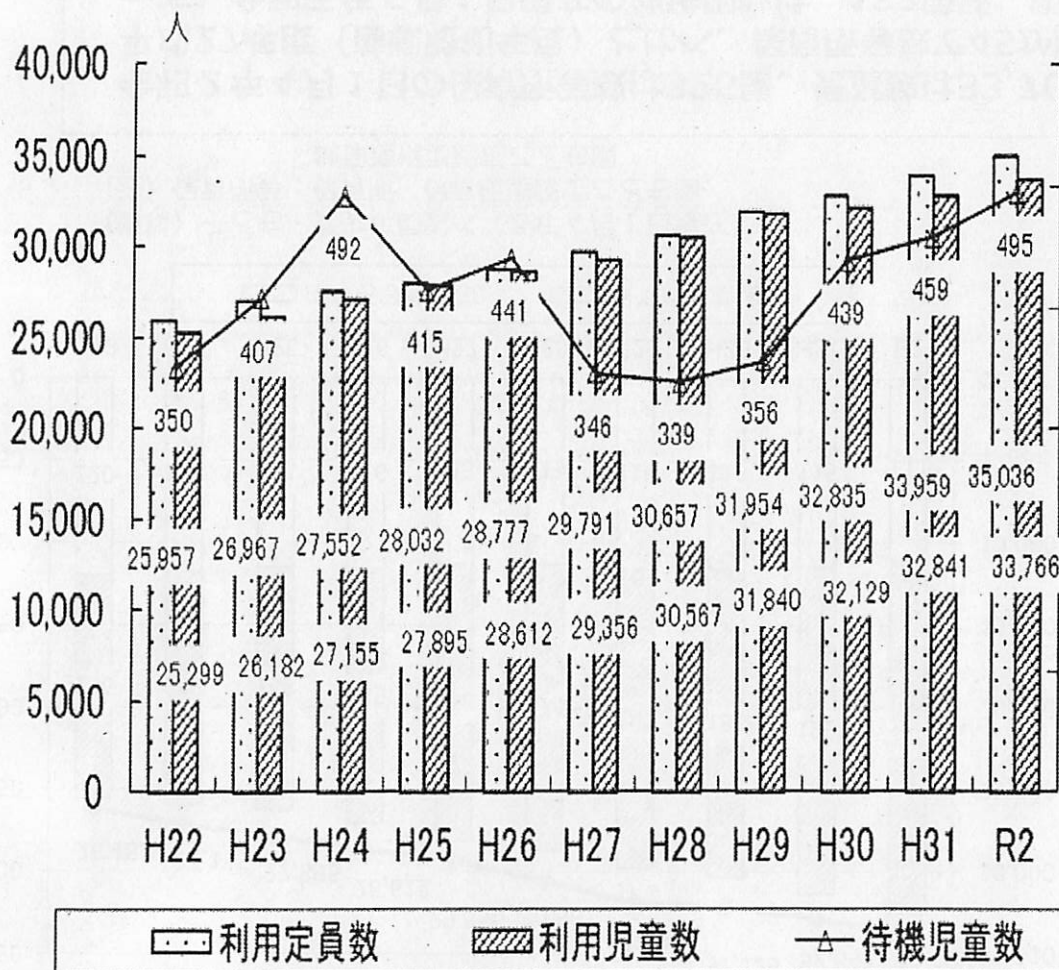
(資料) 子ども・青少年局調べ(各年4月1日現在)
 (注) 保育所等: 保育所、保育所型認定こども園、
 幼保連携型認定こども園

(資料) 学校基本調査(各年5月1日現在)
 (注) 幼稚園: 幼稚園型認定こども園を含む

令和2年4月1日の保育所等数は326園、児童数は33,766人。
 平成27年度(前戦略初年度)と比べ、保育所等数で45か所増加、児童数は4,402人増加。
 一方、令和元年5月1日現在の幼稚園数は、137箇所、園児数は12,486人。
 平成27年度と比べ、23か所減少、園児数は3,448人減少。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(保育所等の状況2)

待機児童数の推移



(資料) 子ども・青少年局調べ(各年4月1日現在)

(注) 保育所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園

※幼稚園型認定こども園、地域型保育を除く

市町別保育所等利用児童数

市町	保育所等			
	就学前児童数	(速報値)		幼稚園園児数
		利用児童数	待機児童数	
大津市	17,151	8,542	4	3,235
彦根市	5,648	2,734	56	1,121
長浜市	5,343	3,014	35	566
近江八幡市	4,248	1,952	39	917
草津市	7,706	3,983	24	1,327
守山市	4,984	2,219	54	872
栗東市	4,553	1,711	55	1,199
甲賀市	4,033	2,326	10	516
野洲市	2,729	1,121	52	806
湖南市	2,748	1,320	54	383
高島市	1,776	990	58	62
東近江市	5,544	2,606	40	443
米原市	1,799	1,080	0	58
日野町	972	443	2	249
竜王町	470	220	0	166
愛荘町	1,208	508	9	386
豊郷町	360	175	0	85
甲良町	259	180	0	41
多賀町	433	222	3	54
計	71,964	35,346	495	12,486

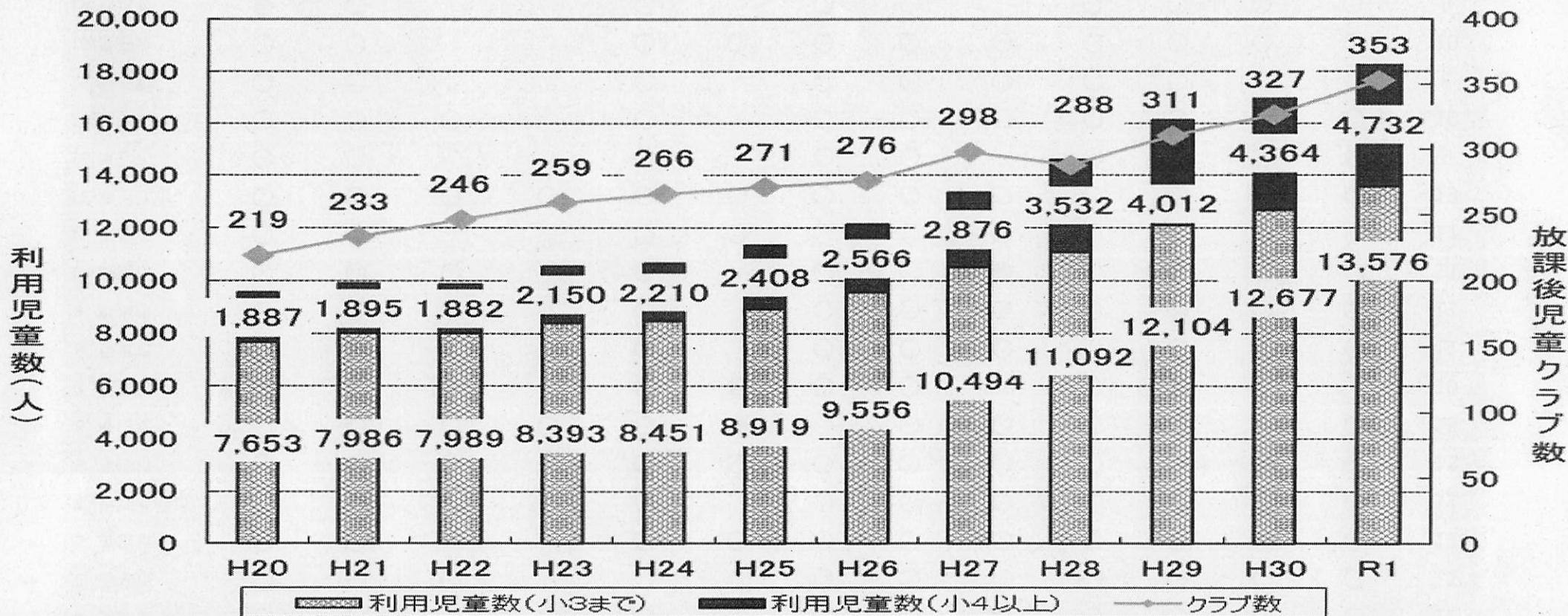
(資料) 子ども・青少年局調べ(令和2年4月1日現在)

※幼稚園園児数は学校基本調査より(令和元年5月1日現在)

保育所等利用児童数は増加しているが、令和2年4月1日現在、495人(速報値)の待機児童が生じている。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(保育所等の状況3)

放課後児童クラブの状況



(備考) 毎年5月1日現在

(資料) 滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局

令和元年5月1日現在、県内の放課後児童クラブは、353か所。
 利用児童数は18,308人(小1~小3:13,576人、小4~小6:4,732)と年々増加。

結婚・出産・子育てをめぐる現状(滋賀県の子育て支援策1)

地域子育て支援事業 市町実施状況(R元年度実績)

No	市町名	利用者支援事業	延長保育事業	実費徴収に係る補給給付	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	放課後児童健全育成事業	子育て短期支援事業	乳児全戸訪問事業	養育支援訪問事業	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	一時預かり事業	地域子育て支援拠点事業	病児保育事業	ファミリーサポート事業	計
1	大津市	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
2	彦根市	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	11
3	長浜市	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
4	近江八幡市	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	11
5	草津市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
6	守山市	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	13
7	栗東市	○	○	○		○	●	○	○		○	○	○		10
8	甲賀市	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	11
9	野洲市	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	11
10	湖南市	○	○	○		○		○	○	●	○	○	○	○	11
11	高島市	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
12	東近江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
13	米原市	○	○			○		○	○		○	○	○	○	9
14	日野町	○	○	○		○		○	○	○	○	○		○	10
15	竜王町	○	○			○		○	○	○	○	○			8
16	愛荘町	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
17	豊郷町	●	○			○		○	○		○	○	○	○	8
18	甲良町	○				○		○			○	○	○	○	6
19	多賀町					○		○		○	○	○	○	○	6
合計		18	17	9	5	19	8	19	17	15	19	19	17	17	

※ ●は、R1から新たに事業実施

結婚・出産・子育てをめぐる現状(滋賀県の子育て支援策2)

市町独自の取組状況(R2.4.1現在)

①保育料減免

長浜市	第2子半額、第3子以降無料(所得制限・年齢制限なし)
甲賀市	第2子無料(所得制限あり)
高島市	全世帯無料(所得制限・年齢制限なし)
東近江市	県所得制限(世帯年収470万円以上)を超える世帯について、第3子以降半額
米原市	第2子目以降の保育料について所得に応じて無料および減免

結婚・出産・子育てをめぐる現状(滋賀県の子育て支援策3)

②乳幼児(子ども)医療費助成(R2.4.1現在)

対象年齢		入院		通院	
就学前までの実施	就学前	0		3	<u>長浜市、守山市、野洲市</u>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 県制度は就学前までの補助 これ以上の対象拡大分は市町単独で上乗せ実施 </div>					
小学校3年生終了までの実施	9歳年度末	0		3	<u>彦根市、草津市(小1～小3自己負担あり)、栗東市(小1～小3自己負担あり)</u>
小学校卒業までの実施	12歳年度末	1	<u>大津市(小1～小6自己負担あり)</u>	1	<u>大津市(小1～小6自己負担あり)</u>
中学校卒業までの実施	15歳年度末	17	<u>彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市(小4～中3償還払)、守山市、栗東市(小4～中3償還払)、野洲市、湖南市、甲賀市(中1～中3償還払)、高島市、東近江市(自己負担あり)、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町</u>	11	<u>近江八幡市(小1～中3所得制限あり)、湖南市(小1～中3自己負担あり償還払)、甲賀市(中1～中3所得制限あり)、高島市、東近江市(自己負担あり)、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町</u>
高校卒業までの実施	18歳年度末	1	<u>豊郷町</u>	1	<u>豊郷町</u>

____現物給付。その他は償還払

基本政策 1

みんなで応援する結婚・出産・子育てと人生100年時代の健康しがの実現

目指す姿

- 年齢、性別、病気・障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが生涯、自分らしく、からだも心も健やかな生活を送ることができるようになっています。
- 多様な働き方とともに、結婚・出産・子育て、介護、学びなどの希望をかなえることができ、仕事や 家庭、地域での役割、余暇の過ごし方などを通して、幸せを感じ続けることができます。

基本的方向性

1) 子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり

○ 出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目のない支援として、若者・子育て世代の雇用の確保、仕事と家庭の両立支援、思春期・妊娠期における健康教育の充実など、子どもを安全・安心に生み育て、子どもの育ちを支え、命を見守る環境づくりを地域全体で進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	(現状)	年次目標				
	(2018)	2020	2021	2022	2023	2024
保育所・認定こども園等利用定員数 (人)	58,562	60,058	61,076	61,355	61,332	61,500
地域子育て支援拠点数 (力所)	88	88	87	89	90	90
淡海子育て応援団等の地域協力事業所数 (力所)	1,795	1,880	1,940	2,000	2,060	2,120

結婚・出産・不妊治療の支援【予算額 14.3百万円】



◆ 3つのステージ（①結婚、②若い年齢での妊娠、③不妊）の各段階できめ細かく支援
ポイント ▣ 職域での取組を強化、不妊治療への支援を拡充

(1) 結婚に向けた支援

(2) ライフプラン・啓発支援

(3) 不妊治療にかかる支援

新 ① めぐりあい創出
モデル事業

・ 広域の出会いの場を創出

新 ② 企業の結婚支援
プロモート

・ 結婚支援をサポート

新 ③ 職場交流補助事業

・ 出会いの場づくり

① ライフデザイン講座等
開催支援事業

・ 高校生向けライフデザイン
・ 大学生向けライフデザイン

新 ② 企業の子育て
支援プロモート

・ 企業内の子育て支援



新 ① 企業向けフォーラム
の開催

新 ② 企業向け出前講座
の開催

新 ③ 仕事との両立支援
助成金事業

保育人材の確保・保育の質の向上対策の強化【予算額 106.0百万円】



◆保育人材の確保が喫緊の課題〔有効求人倍率がここ数年2倍以上で推移(H31.1時点4.87 全国5位)〕

保育人材の確保対策

76,061千円

2つの柱

保育の質の向上対策

29,898千円

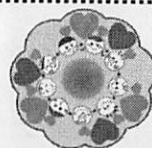
新規資格取得者を増やす

潜在保育士の再就職を支援

現任保育士の離職を防止

認可外保育施設を中心とした質の向上を支援

- (既存事業) ○保育士・保育所支援センターを核とした保育人材の確保対策の充実
 (保育士有資格者バンク登録制度を活用した取組など)
 ○保育士修学資金等貸付事業のさらなる周知
 ○保育士支援アドバイザーによる若手保育士への巡回支援



ほいく“しが”変える！滋賀の保育改革推進事業

◆人材育成や労働環境など一定の基準を定めた認証制度を構築し、働きやすい職場環境づくりの取組を促進

- 新 先生が笑えば、子どもも笑顔♪『ほいく“しが”スマイル♪』認証制度の構築
- 新 ほいく“しが”笑顔で働ける滋賀の保育の魅力を発信
- 新 『保育士さんへの感謝』事業

保育士等の処遇改善の取得を促進

◆全施設で処遇改善を確実に実施

- 新 講習会の開催や社会保険労務士等の派遣による助言・指導

- (既存事業) ○研修会の開催や機器の導入支援による事故防止の推進
 ○立入調査による保育の質の向上を支援
 ○保育士支援アドバイザーによる助言指導



保育士資格等の取得に対する支援

◆保育従事者の資質を向上

- 新 幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得を支援
- 新 認可外保育施設に対し、保育士資格の取得を支援

認可外保育施設への質の向上支援

◆質の向上により安全・安心な環境づくりを推進

- 新 認可外保育施設におけるICT化推進事業

滋賀で保育士になろう



保育を必要とするすべての子どもたちが質の高い保育を受けられる環境をつくる

地域子育て支援拠点事業

背景

- ・ 3歳未満児の約6～7割は
 家庭で子育て
- ・ 核家族化、地域のつながりの希薄化
- ・ 自分の生まれ育った地域以外での
 子育ての増加
- ・ 男性の子育てへの関わりが少ない
- ・ 児童数の減少

課題

- ・ 子育てが孤立化し、
 子育ての不安感、負担感
- ・ 子どもの多様な大人・子ども
 との関わりの減
- ・ 地域や必要な支援
 とつながらない



地域子育て支援拠点の設置

子育て中の親子が気軽に
集い、相互交流や子育ての
不安・悩みを相談できる場
を提供



地域子育て支援拠点

4つの基本事業

- ① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ② 子育て等に関する相談、援助の実施
- ③ 地域の子育て関連情報の提供
- ④ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施



○更なる展開として

- ・ 地域の子育て支援活動の展開を図るための取組（一時預かり等）
- ・ 地域に出向き、出張ひろばを開設
- ・ 高齢者等の多様な世代との交流、伝統文化や習慣・行事の実施等

➤ 公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施

➤ NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て中の当事者による支え合いにより、**地域の子育て力を向上**

30年度実施か所数（交付決定ベース）
7, 431か所

淡海子育て応援団事業

< 事業の概要 >

- 社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを推進するため、子育て家庭を応援するサービスの提供などを行っている企業や店舗を「淡海子育て応援団」として登録し、その取組内容を紹介。
- 子育て家庭に「淡海子育て応援カード」を発行し、協賛店舗でカードを御提示いただいた方に、サービス等を実施いただく仕組み。
- 18歳未満のお子さんまたは妊娠中の方がいる家庭を対象。



(紙カード)



(デジタル画像)

< 子育て家庭を応援するサービス >

お得なサービス



淡海子育て応援カードの提示による、子育て家庭が経済的に優先される商品やサービスの提供

商品の割引 特典 ドリンクやおやつサービス
お誕生日の記念品プレゼント ポイントサービス
金利優遇サービス 等

やさしいサービス



子育て家庭が利用しやすい設備の整備

授乳室 おむつ替え台 ベビーベッドの設置
キッズコーナーの設置 子どもと一緒に入れるトイレ
休憩用イス バリアフリー 等

便利な設備



子育て家庭への付加的サービスの提供

子育て相談 絵本読み聞かせ 託児サービス
ミルク用お湯提供 ベビーカー貸出
アレルギー対応メニュー 親子料理教室の開催 等

